

第4次静岡市食育推進計画 基本施策別掲載事業一覧

資料4-1

◎:目標数値を達成する上で最も影響のある事業 ☆:第4次計画から掲載した事業

基本施策	◎:重点事業 ☆:新規事業	No.	主な事業名	担当課・団体
(1)栄養バランスに配慮した食生活の実践 全7事業		1	あそび、子育ておしゃべりサロン	子ども未来課
	☆	2	ヘルシー食deブランディング飲食関係者向け専門講座	健康づくり推進課
	◎	3	元気で長生き栄養講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		4	健康まつりにおける栄養相談	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		5	健康まつりへの参加	静岡市食生活改善推進協議会
		6	しずおかアクティ部	静岡県給食協会
		7	健康相談(随時)	葵・駿河・清水区役所健康支援課
(2)適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践 全7事業	◎	8	食生活サポート講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		9	ヘルスアップ食事相談	葵・駿河・清水区役所健康支援課
	◎	10	生活習慣病予防教室	静岡市食生活改善推進協議会
		11	高齢者向け教室	静岡市食生活改善推進協議会
		12	骨と体に良い料理教室	静岡市食生活改善推進協議会
	☆	13	市場料理教室	中央卸売市場
		14	栄養士研修会	静岡県給食協会
(3)食品の安全・安心に関する知識の習得 全10事業	◎	15	食の安全教室	食品衛生課
		16	食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション	食品衛生課
		17	給食施設研修事業	食品衛生課
		18	栄養成分表示促進事業	食品衛生課
		19	「食品衛生月間」街頭広報活動	静岡市食品衛生協会
		20	「静岡食協ニュース」の編集・発行(年4回)	静岡市食品衛生協会
		21	地域のお祭り等の「バザー等開催届」提出団体への消毒薬の提供	静岡市食品衛生協会
		22	衛生講習会	静岡県給食協会
		23	見学研修会	静岡県給食協会
		24	調理師資質向上対策事業	静岡県調理師協会
(4)よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進 全12事業	◎	25	歯周病検診	健康づくり推進課
	☆	26	口腔機能向上事業	健康づくり推進課
	☆	27	1歳頃のむし歯予防事業	健康づくり推進課
	☆	28	幼児期の歯科口腔保健支援事業	健康づくり推進課
	☆	29	学童期・思春期の歯科口腔保健支援事業	健康づくり推進課
	☆	30	歯と口の健康に関する普及啓発事業	健康づくり推進課
		31	妊婦歯科健診	子ども家庭課
		32	歯と口の健康	静岡市食生活改善推進協議会
		33	おやこ食育教室	葵・駿河・清水区役所健康支援課
	◎	34	楽しく子育て応援教室	静岡市食生活改善推進協議会
		35	サマーキャンプ	静岡市子ども会連合会
	☆	36	シニアカフェ	静岡市食生活改善推進協議会
(5)食育の普及啓発・情報発信 全12事業	◎	37	公立こども園における食育推進事業	こども園課
		38	保育フェアでの食育展示	こども園課
	◎	39	食に関する情報発信	学校給食課
		40	食の安全・安心HP「たべしずねっと」	食品衛生課
		41	食育ホームページ	健康づくり推進課
		42	しずまえ新聞の発行	水産振興課
		43	啓発資料の作成	学校給食課
		44	食の安全・食育に関する資料の展示	中央図書館
		45	静岡市版食事バランスガイド	健康づくり推進課
		46	食育の日・食育月間の普及啓発	健康づくり推進課
		47	食育の日キャンペーン	静岡市食生活改善推進協議会
		48	食育講習会	学校給食課

(6)規則正しい食習慣の実践 全10事業	◎	49	食に関する指導	学校給食課
	◎	50	しずおかカラダにeat75	健康づくり推進課
	◎	51	栄養素について学ぶ	静岡市私立幼稚園連合会
		52	給食参観	静岡市私立幼稚園連合会
		53	マタニティ教室における栄養士講話	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		54	0歳児の育児相談、6か月児育児相談における栄養相談	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		55	1歳6か月児健康診査における栄養相談	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		56	3歳児健康診査における栄養相談	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		57	離乳食の作り方教室	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		58	食育活動	子ども未来課
(7)環境に配慮した食生活の実践 全6事業	◎	59	食品ロス削減対策事業	ごみ減量推進課
		60	スマートクッキング	静岡市食生活改善推進協議会
		61	第4次食育推進基本計画の重点課題の解決と目標達成のための取組	関東農政局
	☆	62	エンカル消費推進のための講座・セミナーの開催	しずおか市消費者協会
	☆	63	エンカル消費の啓発	生活安全安心課
	☆	64	静岡市グリーン農業推進事業補助金	農業政策課
(8)地産地消の推進 全13事業	◎	65	地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食課
		66	農水産物の情報発信	農業政策課・水産振興課
		67	静岡市認定農業者協会「秋・冬・春の市」	静岡市認定農業者協会 農業政策課
		68	産業フェアしずおか	農業政策課・水産振興課・森林政策課
		69	しずおか畜産まつり	静岡市農業協同組合
		70	アグリフェスタしみず	清水農業協同組合
		71	地産地消活動(商店街・店頭販売)	静岡市農業協同組合
	◎	72	地産地消活動(商店街・店頭販売)	清水農業協同組合
		73	地元の海産物(しらすをメインに食べてみよう)	清水漁業協同組合
	◎	74	しらすを食べる会	清水漁業協同組合
		75	用宗漁港まつり	清水漁業協同組合
		76	清水港マグロまつり	清水みなと振興課
	☆	77	ガストロノミーウォーキング事業補助金	観光政策課
(9)農林漁業生産者と消費者との交流 全11事業	◎	78	生消費言倶楽部	静岡市農業協同組合
		79	アグリチャレンジパーク蒲原活用事業	農業政策課
		80	親子しいたけ種駒打ち教室	森林政策課
		81	親子食農体験「ソレイユくらぶ」	静岡市農業協同組合
		82	出張加工品づくり教室	静岡市農業協同組合
		83	農業体験教育事業	静岡市農業協同組合
		84	出前講座	清水農業協同組合
		85	農業体験教育事業	清水農業協同組合
		86	体験学習	静岡市私立幼稚園連合会
		87	しずまえ漁業見学ツアー	水産振興課
		88	タタミ干し作り体験と体験乗船	清水漁業協同組合
(10)食文化の継承 全10事業	◎	89	食育応援団	健康づくり推進課
		90	食文化・食育普及啓発	静岡県調理師協会
		91	調理技術研修会	静岡県給食協会
	◎	92	お茶の美味しい入れ方教室	農業政策課
		93	お茶育	静岡市農業協同組合
		94	緑茶を飲もう	静岡市私立幼稚園連合会
		95	ライフステージに応じた各種食育推進講座	生涯学習推進課
		96	都市山村交流センターの活用	中山間地振興課
		97	じまんの「しよく」フェスタ	静岡市農業協同組合
	☆	98	食育ボランティア人材養成講座	健康づくり推進課

※全98事業

A	B	C	D	E	F	G	H							I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R			
基本施策	主な目標	事業番号	課名 団体名	事業の概要			対象者(●:本人 ◎:保護者)							第4次計画策定時の状況			令和6年度事業計画		令和6年度事業実績			令和7年度事業計画				
				重点事業	事業名	事業内容	0 5 歳	6 ~ 1 1 歳	1 2 ~ 1 9 歳	2 0 ~ 2 9 歳	3 0 ~ 3 9 歳	4 0 ~ 4 9 歳	5 0 ~ 5 9 歳	6 0 ~ 6 9 歳	7 0 歳 以上	現状・課題	令和6~12年度の 取組の方向性	令和12年度末目標値	取組方針	実施計画 (評価指標)	実績 (成果)	評価	評価の理由と課題	取組方針	実施計画 (評価指標)	
(3) 食品の安全・安心に関する知識の習得	○食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合の増加	15	食品衛生課	○	食の安全教室	小学校等で食中毒・添加物等についての講話を行う		●	●						毎年一定数の応募があり、おおむね高い満足度を得ている。応募数によっては対応する課の負担になる場合があり、今後も調整を図っていく。	内容の充実、講師のスキルアップや資料の見直しを図る。	9回	内容の充実、講師のスキルアップや資料の見直しを図る。	12回							
		16	食品衛生課		食の安全・安心リスクコミュニケーション	食の安全・安心に関する講座やリスクコミュニケーションを開催		●	●	●	●	●	●	●	参加者の満足度はおおむね高い。内容を充実させるため、その時々にあった話題を取り入れていく。	内容の充実、講師のスキルアップや資料の見直しを図る。	出前講座は申し込みに応じて実施予定。マタニティ教室7回	内容の充実、講師のスキルアップや資料の見直しを図る。	出前講座は申し込みに応じて実施予定。マタニティ教室10回							
		17	食品衛生課		給食施設研修事業	衛生講習会、栄養講習会									給食施設の従事者が講習会に参加しやすいようにハイブリッド方式で開催している。	給食施設の従事者の知識・技術向上につながる最新の情報やニーズ等を把握し、講習会を企画・開催する。その時の現状にあわせて、参加者が参加しやすい方法で開催する。	衛生講習会 年3回 栄養講習会 年2回	給食施設や従事者の資質向上のため、講習会の開催を継続する。会場参加とオンライン参加を選択できるようにして実施する。	衛生講習会 年3回 栄養講習会 年2回							
		18	食品衛生課		栄養成分表示促進事業	・栄養に関するリーフレットの作成、配布 ・栄養成分表示店募集及び周知のためのリーフレットの作成、配布 ・食品表示、栄養計算講習会の開催	●	●	●	●	●	●	●	●	健康日本21(第2次)の目標であった「食品中の食塩や脂肪の低減に取組む食品企業及び飲食店の登録数の増加」が第3次移行に伴い廃止(目標達成)となった。しかし、現在の栄養成分表示促進事業には栄養成分表示に加えてヘルシーマークの表示があり、栄養・食生活分野の目標である「食塩摂取量の減少」や「野菜摂取量の増加」等を達成するために必要な事業である。そのため事業の実施要領を見直して継続する。	今後の食品表示関係法令の動向を注視しつつ、栄養成分表示の見方の講座を適正化の推進を行う。あわせて、市民が自ら健康的な食生活を実践するための栄養成分表示の活用について情報発信を行う。	食べ方スキルアップ！ 栄養計算と食品表示の見方の講座 年2回 栄養成分表示に関する普及啓発を目的とした資料の印刷・配布 年5,000部	栄養成分表示促進事業実施要領を見直した上で、市民が外食や中食等を利用する際に食事内容を考えながら購入できる環境を整える。広く栄養成分表示を活用してもらうための講座の開催及び資料の印刷・配布を行う。	食べ方スキルアップ！ 栄養計算と食品表示の見方の講座 年2回 栄養成分表示に関する普及啓発を目的とした資料の印刷・配布 年5,000部							
		19	静岡市食品衛生協会		「食品衛生月間」街頭広報活動	静岡駅コンコース等において、行政及び食協職員等により参加者120名によりチラシ、パンフレット、うちわ、パネルなどを配布し、食中毒予防を呼びかける	●	●	●	●	●	●	●	●	・食品衛生月間(8月)のウィークデーの初日にJR静岡駅で実施	継続	現状維持	現状維持	・食中毒予防街頭キャンペーン ・食中毒予防懸垂幕設置 ・食中毒予防のぼり旗の設置							
		20	静岡市食品衛生協会		「静岡食協ニュース」の編集、発行(年4回)	・年4回(タブロイド版4項)静岡市食品衛生協会機関紙として発行(5,860部) ・食関係の行政や日食協からの情報の伝達や提供									・行政や日食協からの情報は、会員にとって非常に重要であるので、情報提供のツールとして有意義である。	継続	現状維持	現状維持	・静岡市食協ニュースの編集、発行(年4回)							

A	B	C	D	E	F	G	H							I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R				
基本施策	主な目標	事業番号	課名 団体名	事業の概要		対象者(●:本人 ◎:保護者)							第4次計画策定時の状況			令和6年度事業計画		令和6年度事業実績			令和7年度事業計画						
				重点事業	事業名	事業内容	0 5 歳	6 1 1 歳	1 2 1 9 歳	2 0 2 9 歳	3 0 3 9 歳	4 0 4 9 歳	5 0 5 9 歳	6 0 6 9 歳	7 0 歳 以上	現状・課題	令和6~12年度の 取組の方向性	令和12年度末目標値	取組方針	実施計画 (評価指標)	実績 (成果)	評価	評価の理由と課題	取組方針	実施計画 (評価指標)		
(6) 規則正しい食習慣の実践	〇〇栄養バランスに欠ける食生活に関する若い世代の割合の減少、栄養士を活用して実施した学校の割合の増加	49	学校給食課	○	食に関する指導	・児童生徒に食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくように、各小中学校で食に関する指導を実施 ・献立表や学校給食ウェブサイトによる情報提供	●	●								・R5に各学年1回以上実施した割合89.6% (126校中112校で実施) ・R5の小中学校別実施率 小学校92.7% 中学校83.6%	栄養教諭・栄養士による「授業の充実と図るため、食に関する指導の授業研修会を実施する。	・各学年1回以上実施した食に関する指導の割合95% ・小中学校別実施率 小学校94% 中学校85%	各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する。	・各学年1回以上実施した割合90% ・小中学校別実施率 小学校94% 中学校85%							
		50	健康づくり推進課	○	しずおかカラダにeat75	民間企業・高校・大学等と連携し、食育教室やイベント等を通して、若い世代の「食」を通じた健康づくり事業を実施	◎	◎	●	●						若い世代は、栄養バランスのとれた食事、規則正しい食習慣、女性はやせ、朝食摂取などに対する課題が他年代と比べて多い傾向がある。 若い世代が中心となり、健全な食生活を次世代へつなげていくことができるよう食育を推進する。	高校生や大学生等の若い世代を対象に、民間事業者等と連携して、年度ごと新しい取組を考案し、取り組んでいく。 若い世代の食に関する課題解決に取り組む。	大学等や高校生などの若い世代を対象とした食育イベントなどの開催	大学の食堂を利用して、野菜摂取に向けた食に関するイベントを大学と共催で開催予定。	大学と共催で実施する食育イベントの開催2回							
		51	静岡市私立幼稚園連合会	○	栄養素について学ぶ	食育について、ペーパーサートや紙芝居等でわかりやすく伝える	●										子どもにわかりやすく工夫し伝えている	継続して食育に興味を持てるような教材を使っていく	各園で実施	継続して食育に興味を持てるような教材を使っていく	食育に関して興味を持てるような教材を利用し、栄養素など伝える						
		52	静岡市私立幼稚園連合会		給食参観	保護者に給食参観をしていただき、子どもと一緒に給食を食べ、栄養に関することについても話をする	●◎										給食の献立などを参考に、ご家庭の食事にも取り入れた保護者がいた	継続して子どもの食事の様子を保護者に伝えていく	各園で実施1回~3回	継続して子どもの食事の様子を保護者に伝えていく	給食参観などで子どもの食事の様子をみていただく						
		53	葵・駿河・清水区役所健康支援課		マタニティ教室における栄養士講話	・講話(妊娠中の栄養・食生活、食の安全に関する内容) ・個別相談										【対象】妊娠出産期	青年期層の女性の「やせ」傾向が進み、胎児期の低栄養状態や成人期における生活習慣病のリスクが高まっている。教室をとおして妊娠中の食生活を直視し、妊婦および胎児の健康づくりをサポートする必要がある。	「妊娠中の食事や栄養バランス等について知ることができたか」の間に「はい」と回答80%以上	教室アンケート 栄養士講話における参加者の理解度80%以上	初産婦及び経産婦を対象に、オンデマンド方式と対面方式で実施予定。対面では栄養士講話を20分に短縮し、妊娠中の食生活の知識普及のため支援していく。	年10回実施 オンデマンド配信年3回						
		54	葵・駿河・清水区役所健康支援課		0歳児の育児相談、6か月児育児相談における栄養相談	離乳食に関する個別栄養相談	◎										離乳食の進み具合には個人差があるため、個別に栄養相談を実施し、相談者の状況に応じた助言指導を行っていく必要がある。	離乳食について不安をかかえる保育者に対し、継続的な支援が必要である。	年間計画通りに実施。個々の対応を行い、離乳食の進め方について、保育者の不安を軽減、解消させる。	個々の悩みに応じた、栄養相談を行い、保育者の不安や悩みの軽減を図る。	0歳:年119回実施 6か月:年155回実施 離乳食に関する保育者の不安解消、軽減						
55	葵・駿河・清水区役所健康支援課		1歳6か月児健康診査における栄養相談	健康診査時の個別栄養相談	●◎										子どもの朝食欠食が増加しており、成人期における生活習慣病のリスクが高まっている。個々の悩みに応じた栄養相談を実施し、望ましい食習慣を周知していく必要がある。	個々の対応を行い、幼児期の食生活について、保育者の不安を軽減するよう支援していく。	年間計画通りに実施。個々の対応を行い、幼児期の食生活について、保育者の不安を軽減、解消させる。	幼児食に関する保育者の不安を軽減するため、また、健康的な望ましい食生活についての知識普及のため、他職種と連携した支援を行っていく。	1,6歳:年113回実施 幼児期の食生活についての不安軽減及び望ましい食生活についての知識普及								

A	B	C	D	E	F	G	H							I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R			
基本施策	主な目標	事業番号	課名 団体名	重点 事業	事業の概要		対象者(●:本人 ◎:保護者)							第4次計画策定時の状況			令和6年度事業計画		令和6年度事業実績			令和7年度事業計画				
					事業名	事業内容	0 5 歳	6 1 1 歳	1 2 1 9 歳	2 0 2 9 歳	3 0 3 9 歳	4 0 4 9 歳	5 0 5 9 歳	6 0 6 9 歳	7 0 歳 以上	現状・課題	令和6~12年度の 取組の方向性	令和12年度末目標値	取組方針	実施計画 (評価指標)	実績 (成果)	評価	評価の理由と課題	取組方針	実施計画 (評価指標)	
		56	葵・駿河・清水区役所健康支援課		3歳児健康診査における栄養相談	健康診査時の個別栄養相談	●◎									子どもの朝食欠食が増加しており、成人期における生活習慣病のリスクが高まっている。個々の悩みに応じた栄養相談を実施し、望ましい食習慣を周知していく必要がある。	個々の対応を行い、幼児期の食生活について、保育者の不安を軽減するよう支援していく。	年間計画通りに実施。個々の対応を行い、幼児期の食生活について、保育者の不安を軽減、解消させる。	幼児食に関する保育者の不安を軽減するため、また、健康的な望ましい食生活についての知識普及のため、他職種と連携した支援を行っていく。	3歳:年111回実施 幼児期の食生活についての不安軽減及び望ましい食生活についての知識普及						
		57	葵・駿河・清水区役所健康支援課		離乳食の作り方教室	講話・実演・試食・個別相談	◎									参加者アンケートより満足度が高く、保育者の不安解消、軽減につながっている。参加者によって、調理技術や理解力等に差があるため、状況に応じた対応が必要である。	離乳食開始前後の不安や悩みを解消する場として、今後も継続していく。参加者の状況に合わせて、説明方法を工夫していく。また、保育者の食生活の重要性についても呼びかけをする。	教室アンケート 参加者の理解度80%以上 満足度80%以上	離乳食の展示や実演を継続して行い、新たに試食を再開することで保育者の不安軽減を図る。	年118回実施 離乳食に関する保育者の不安解消、軽減						
		58	子ども未来課		食育活動	市内の児童館等で栄養士や食生活改善推進協議会による食育講座、野菜の栽培～消費までの体験イベントなど食に触れる活動を行う	●◎	●◎	●							市内の児童館が各館特色のある食育活動を行っている。子どもや保護者が地域や人とのつながりの中で食を学ぶことで食への関心を高め、いかに生活する力を身につけてもらうかが課題となる。	各館での取り組みを継続する。	市内全児童館で実施	野菜の苗を植えて育てる、行事の中で食物の栄養素などについて話すなどクッキング等によらない事業の検討をし取り組んでいく。	市内10館 19回実施						

第4次静岡市食育推進計画 評価方法について

1. 進行管理の評価について

○各目標別に整理

第3次食育推進計画評価方法

- | |
|---------------------------|
| A 評価：計画目標に対し、80%以上達成 |
| B 評価：計画目標に対し、50%以上80%未満達成 |
| C 評価：計画目標に対し、50%未満達成 |
| D 評価：実施なし |



○基本施策別に整理

第4次食育推進計画評価方法

- | | |
|----------------|-----------------------|
| S 評価：期待を上回る | 計画目標に対し、105%以上達成 |
| A 評価：期待どおり | 計画目標に対し、90%以上105%未満達成 |
| B 評価：期待を下回る | 計画目標に対し、70%以上90%未満達成 |
| C 評価：期待を大きく下回る | 計画目標に対し、70%未満達成 |

2. 重点事業実施計画個票の評価について

別紙（案）のとおり

第3次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票												
第3次計画策定時の状況								(参考) 第3次食育推進計画での様式(前様式)				
事業名	元気で長生き栄養講座											
担当課・団体	各区役所健康支援課											
基本方針	健康長寿世界につながる食育の推進											
基本施策	(4)栄養バランスを考えた食生活の実践											
数値目標	(6)主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合70%以上にする											
取組概要	介護予防についての講話、調理実習、試食											
取組目的	健全な食生活の実践 ライフステージにあった食事スタイルの確保											
現状・課題	<p>(現状) 食事バランスを見直すきっかけとなり、また参加者同士の交流の場ともなり、利用者の満足度が高い。</p> <p>(課題) 会場により参加者にばらつきがあり、またリピーターが多く新規参加者が少ない傾向にある。</p>											
令和4年度事業計画(第3次静岡市食育推進計画)												
目標	令和4年度目標		<p>(学習目標)参加者アンケートより、バランスの取れた食事について理解できたと回答する参加者の割合60%以上。 (行動目標)参加者アンケートより、「今後の生活にバランスのとれた食事を毎食食べることを取り入れたい」と回答する参加者の割合75%以上。 (環境目標)参加者が利用しやすい生涯学習センターや生涯学習交流館等での開催を計画・実施する。 (結果目標)参加者アンケートより、今後の生活に取り入れていきたい項目として、バランスのとれた食事を毎食食べることに回答する参加者の割合65%以上、満足度80%以上。</p>									
	令和5年度結果目標		<ul style="list-style-type: none"> ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている参加者の割合70%以上 ・各イベント等でチラシ配布などのPR ・交流館・交流センター等との連携 									
令和4年度の取組方針			感染症対策のため、参加者による調理実習及び試食を中止した上で、事業を継続していく。加工品等を使った簡単料理を栄養士が実演、展示し、参加者の調理意欲を高める。									
取組内容(予定)			栄養バランスや低栄養予防に関する講話と栄養士による加工品等を使った簡単料理の実演、展示									
評価	令和4年度評価	企画評価		栄養バランスや低栄養予防に関する講話と栄養士による加工品等を使った簡単料理の実演、展示を実施した。感染症対策のため試食はしなかったが、参加者の満足度は100%と高かった。								
		経過評価	①事業が計画どおりに実施されたか	計画通り実施できた(年15回)が、会場によっては参加者数は伸び悩んでいる。								
			②参加者は内容を理解し満足したか	講座内容について「バランスのとれた食事について理解できた」と回答する参加者の割合は92%で、目標の60%を上回った。								
			③課題や改善点	調理実習、試食を中止したことで共食という目的は果たせなかったが、栄養士による簡単料理の実演をしたことで、「家でぜひ作ってみたい」という意見があった。								
		影響評価	学習目標が達成されたか	参加者アンケートより、バランスのとれた食事について理解できたと回答する参加者の割合が92%であり、60%を上回った。(昨年度は51.6%)								
			行動目標が達成されたか	参加者アンケートより、「今後の生活にバランスのとれた食事を毎食食べることを取り入れたい」と回答する参加者の割合は66%であり、75%以上を達成できなかった。(昨年度は54.7%)								
環境目標が達成されたか	生涯学習センターや生涯学習交流館においても計画通り実施できた。											
結果評価		参加者アンケートより、「今後の生活に取り入れていきたい項目として、バランスのとれた食事を毎食食べることに回答する参加者の割合は66%(目標65%以上)、教室の満足度は100%(目標80%以上)と、ともに目標値を上回った。										
令和5年度結果評価		【最終的に達成をねらった目標がどの程度達成できたかを明記してください】										
投入コスト			予算額		65千円		決算額		48千円			
対象者(●は該当、○は保護者)			0~5歳	6~11歳	12~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	その他(具体的に)
										● (65歳以上)	●	

令和5年度事業計画（第3次静岡市食育推進計画）											
目標	令和5年度目標	学習目標	参加者アンケートより、バランスの取れた食事について理解できたと回答する参加者の割合60%以上。								
		行動目標	参加者アンケートより、「今後の生活にバランスのとれた食事を毎食食べることを取り入れたい」と回答する参加者の割合75%以上。								
		環境目標	参加者数を増やすため、生涯学習施設との共催や地域活動におけるPR活動等を行っていく。								
		結果目標	参加者アンケートより、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている参加者の割合70%以上。								
令和5年度結果目標		<ul style="list-style-type: none"> ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている参加者の割合70%以上 ・各イベント等でチラシ配布などのPR ・交流館・交流センター等との連携 									
令和5年度の取組方針		加工品等を活用した簡単な調理実習、試食を再開し、参加者の調理意欲を高める。									
取組内容（予定）		栄養バランスや低栄養予防に関する講話と、加工品等を使った簡単な調理実習、試食の実施。									
投入コスト		予算額		103 千円		決算額		千円			
対象者（●は該当、◎は保護者）		0～5歳	6～11歳	12～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他(具体的に)
									● (65歳以上)	●	
平成30～令和5年度の取組の方向性											
方針		継続									
工程	年度	内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5			
	計画	講座の開催	◎実施	⇒継続	⇒継続	⇒継続	⇒継続	⇒継続	⇒継続		
	実績	講座の開催	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	凡例	△調査・検討 ○一部実施 ◎実施 ⇒継続 ●実績なし ×中止									
評価指標／年度		H30	R1	R2	R3	R4	R5				
①	講座の開催	年18回開催	年20回開催	年15回開催	年15回開催	年15回開催	年15回開催				
②											
③											
④											
令和3年度事業計画と評価											
令和3年度の取組方針		感染症対策のため、調理実習及び試食を中止した上で、事業を継続していく									
実施計画（評価指標）		年15回実施 低栄養に関する情報提供									
実績（成果）		年11回実施、延べ67人実施 新型コロナウイルスの影響により年15回を年11回に計画を変更して実施した									
評価		A									
評価の理由		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習と試食をとりやめ、家庭での調理の参考となるよう簡単レシピ集を配布した。教室の満足度100%と高かった									
現状と課題		新規参加者が少ない傾向にあり、チラシの見直しや配布先の拡大を検討し、教室をPRする									
投入コスト		予算額	65 千円	決算額	0 千円						

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票（案）							
第4次計画策定時の状況							
事業名	元気で長生き栄養講座						
担当課・団体	葵・駿河・清水区役所健康支援課						
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策	（1）栄養バランスに配慮した食生活の実現						
主な第4次食育推進計画数値目標	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合 60%以上						
取組内容	低栄養予防についての講話、簡単な調理実習、試食						
現状・課題	<p>（現状）参加者アンケートより理解度・満足度が高く、低栄養予防に関する知識の普及につながっている。また試食や調理体験を行うことにより共食の場となっている。</p> <p>（課題）参加者の少ない回もあり、参加者の確保が課題である。</p>						
令和12年度末目標値	教室アンケート 参加者の理解度80%以上、満足度80%以上						
令和6年度							
事業計画				事業評価			
令和6年度の取組方針	調理実習と試食を継続して実施することにより、実践につなげ、共食の推進を図る。参加者数を増やすため、生涯学習施設との共催や地域活動におけるPR活動等を行っていく。			達成できた	達成できなかった	達成できなかった理由	
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
結果目標（アウトカム）	（達成したいゴールを具体的に示した目標）			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
行動目標	（結果目標を達成するための行動に関わる目標）			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
環境目標	（行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか）			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
学習目標	（行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標）			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
令和7年度事業計画							
令和7年度の取組方針							
結果目標（アウトカム）							
行動目標							
環境目標							
学習目標							
令和6～令和12年度の取組について							
計画予定	前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	講座の開催実績						
②							
③							